



ワークショップ 広汎性発達障害幼児の早期診断と早期対応

日 時：2008年8月7日（木）16：00～18：00（終了予定）
場 所：立命館大学衣笠キャンパス 創思館 4F 401-402号室
定 員：20名（大学院生、発達相談等の専門家を対象とさせていただきます。
事前予約制：E-mail・Faxにて受付致します。定員に達し次第締切らせて頂ます。

参加費：無料

申込・問合せ先：立命館大学人間科学研究所事務局

TEL：075-465-8358 FAX：075-465-8358 E-mail：ningen@st.ritsumei.ac.jp

*講演は主に英語で行われますが、逐次通訳が入ります。

コーディネーター：荒木 穂積（立命館大学産業社会学部・同大学院応用人間科学研究科教授）

ワークショップ

テーマ：広汎性発達障害の早期診断と早期対応－ADOS等を用いた診断評価－

講師：カーシャ・コワルスカヤ（Yale大学准教授、子ども研究センター附属乳幼児センター所長）

立命館大学人間科学研究所子どもプロジェクト・同大学院応用人間科学研究科の主催で「広汎性発達障害の早期診断と早期対応」をテーマに専門家を対象にしたワークショップを開催します。

講師のカーシャ・コワルスカヤ氏はアメリカ・Yale大学子ども研究センター附属乳幼児センター所長で、乳幼児期の広汎性発達障害の世界的権威のお一人です。世界乳幼児精神保健大会に参加するために来日されましたが、本学への来学の機会に専門家を対象にした小さなワークショップを開催することになりました。ワークショップでは、ADOS（自閉症診断のための行動観察尺度）等をつかった広汎性発達障害の早期診断と早期対応の実際について具体例をとおして話してもらいます。

※事前受付をさせていただきますが、会場の関係で受付は20名です。希望される方はお早めにお申し込みください。人数に限りがありますのでお断りする場合があります。

Katarzyna (Kasia) Chawarska氏プロフィール



Yale大学子ども研究センター附属発達障害乳幼児臨床センター所長、准教授。専門領域は実験発達心理学・発達障害。アーミー・クリン教授、フレッド・フォークマー教授、マイケル・パワーズ教授らと自閉症に関する多くの共同研究をすすめている。特に、臨床的評価・診断のための乳児期の社会的・認知的発達研究として、自閉症および関連障害の共同注意、追視過程、早期行動指標など（定型発達児および非定型発達児ともに）に焦点をあてて研究すすめている。近著は、**Autism Spectrum Disorders in Infants and Toddlers: Diagnosis, Assessment, and Treatment**; Guilford Press社